

## 令和6年度 看護職確保定着・離職防止推進委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：太田圭子 副委員長：重見奈名代 委員：勝部猛彦・松浦久美子・菰野朱美・福田幸子・山下和恵 椿野泰三・梅澤 章・中川 勝・小西由起子・大迫しのぶ・小林孝代</p>																								
<p>■開催回数</p>	<p>3回</p>																								
<p>■活動目標</p>	<p>1. 看護職の確保および就業継続支援のための取り組みについて、ナースセンター事業を踏まえ検討する。 2. ハローワークや他機関との連携を強化・推進する。 3. 看護職員の確保状況等に関する調査の実施と結果・考察から課題を整理し、必要な改善策を検討する。 4. 看護職確保・定着に効果的な内容の記述意見について詳細確認できればまとめる。</p>																								
<p>■活動内容</p>	<p>1. ナースセンター事業の活動報告をうけ、看護職確保等に必要な取り組みについて検討する。</p> <p style="margin-left: 20px;">1) eナースセンターの周知活動や登録促進のための検討を行う。 2) 広報活動などナースセンターでの取り組みを支援する。 3) 未就業看護職員の再就業促進のための活動について検討する。</p> <p>2. ハローワークや地域の関係団体・関係機関との連携を強化する。</p> <p style="margin-left: 20px;">1) ハローワークと連携し、再就業への支援を強化する。 2) 「看護の魅力」普及啓発（将来看護職をめざす志望者の増加）の推進を検討する。</p> <p>3. 看護職員の確保状況等に関する実態調査の実施と結果をもとに課題を整理し改善策を検討する。</p> <p style="margin-left: 20px;">1) 令和5年度の看護職員の確保状況等に関する実態調査の実施              (1) 実施期間：令和6年6月24日～7月22日              (2) 実施方法：オンライン調査</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">施 設</th> <th style="width: 15%;">施設数</th> <th style="width: 15%;">有効回答数</th> <th style="width: 45%;">回答率（前年比）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院</td> <td>346</td> <td>320</td> <td>92.5%（+5.5%）</td> </tr> <tr> <td>介護医療院</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>74.1%（+10.1%）</td> </tr> <tr> <td>介護老人保険施設</td> <td>162</td> <td>78</td> <td>48.1%（+4.6%）</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>432</td> <td>234</td> <td>54.2%（+7.4%）</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>901</td> <td>575</td> <td>63.8%（+15.0%）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">2) 実態調査は【病院】【施設】【訪問看護ステーション】の調査結果の分析・考察を検討しまとめる。 3) 調査結果内容について、県医務課、労働局、ナースセンター等の担当者と共有し、看護職員の確保定着・離職防止の課題を整理し改善策を検討する。 4) 調査用紙配布時に、看護職確保・定着に関する好事例があれば記載を依頼する。 5) 次年度実態調査表の質問項目の検討</p>	施 設	施設数	有効回答数	回答率（前年比）	病院	346	320	92.5%（+5.5%）	介護医療院	27	20	74.1%（+10.1%）	介護老人保険施設	162	78	48.1%（+4.6%）	介護老人福祉施設	432	234	54.2%（+7.4%）	訪問看護	901	575	63.8%（+15.0%）
施 設	施設数	有効回答数	回答率（前年比）																						
病院	346	320	92.5%（+5.5%）																						
介護医療院	27	20	74.1%（+10.1%）																						
介護老人保険施設	162	78	48.1%（+4.6%）																						
介護老人福祉施設	432	234	54.2%（+7.4%）																						
訪問看護	901	575	63.8%（+15.0%）																						

■活動の評価

1. 令和6年度の兵庫県ナースセンター事業報告をうけ、意見交換した内容を活かし下記の項目について強化された。
  - 1) 看護職員養给力強化事業では、令和7年度の兵庫県内看護系大学・看護専門学校の入試一覧の内容を改善した冊子を進学説明会で提供する事ができた。

しかし、入試方法が複雑化しており、原稿を依頼している各学校の負担が大きい。また、詳細はホームページ参照という学校が多くなっている。配布数も100部程度であるため、来年度の作成はしない。ナースセンターで作成している進学用パンフレット「看護師をめざすあなたへ」に学校一覧を掲載している。そこに各学校のホームページにつながる情報を掲載することにする。
2. 看護補助者の就業に向けて、看護補助者の認知度の向上のための研修等を実施していく予定である。
3. 今期の看護職員の確保状況等に関する実態調査は、昨年から引き続き、「病院」「訪問看護」「介護・福祉施設等」に分け実施した。
  - 1) 今期も昨年のまとめ方を土台にデータ集計を業者依頼し、当委員会内で意見交換をしながら考察と今後の課題を整理した。看護職員の確保や定着に関して効果があった自由記載内容を掲載しているため、各施設の管理者が報告書を読んで複合的に参考・活用にしていただけることを期待する。
4. 好事例集の作成までは至らなかったが、考察として整理する過程では、看護職確保・定着に効果的であった内容を参考にすることを意識し活用を行った。